

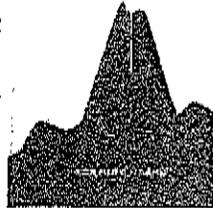
統一協会(世界平和統一家庭連合)は、先祖の霊の苦しみを解き天国に送ると称して、違法な高額な献金を信者に強要しています。本紙は献金の仕組みを解説した公式ガイドブックの写しを入手しました。そこには、「子孫に悪さをすれば罰として、縄文時代の先祖霊でさかのぼって供養のための献金を出す方法は記されています。」

(統一協会取材班)

# 統一協会

本紙が入手したのは『先祖解怨・祝福 受付ガイドブック 第5版』(2007年4月発行)です。これによると統一協会は「先祖・文解明と妻の神子孫の擁護で、縄文時代の先祖の苦しみを消滅させる」として、1999年から「先祖解怨式」という儀式を神岡・清平で始めました。

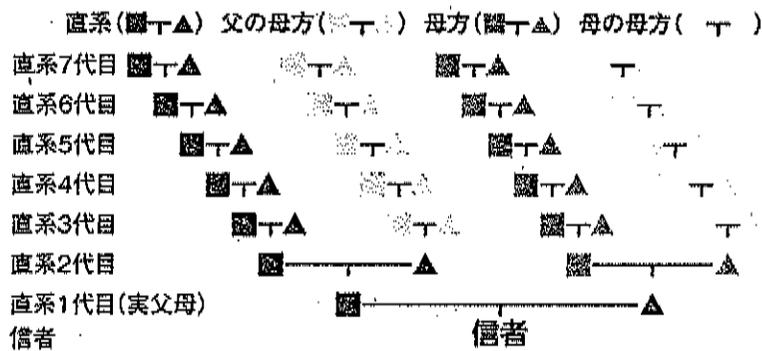
ガイドブックによると供養が必要なのは当初1-20代前まででしたが、文解



統一協会が発行した『先祖解怨・祝福 受付ガイドブック』

# 金 献「解怨」まで先祖文縄

統一協会の「先祖解怨」の4家系



(『先祖解怨・祝福 受付ガイドブック第5版』から作成)

従って、先祖たちは待機室にいても、いつまた元の場所に置かれるかもしれないという不安と恐怖で苦しんでいるし、また元の場所(地獄)に戻ってしまうと、以前と同じように地獄の苦痛の中にいるので、先祖は子孫が早く解怨してくれないことを恨むようになり、子孫に悪さをするようになるといわれています。特に、さまざまな問題で清平に来る食口たちを見ると、以前には恨みの霊が悪さをしていたのが、2003年後半からは、恨みの霊よりも、むしろ解怨されないでいる先祖たちが悪さをしていることが多くなってきているといわれています。

統一協会発行の『先祖解怨・祝福 受付ガイドブック』には、先祖が「子孫に悪さをする」という同じ文句が記されています。食口とは信者のこと

## 本紙入手の解説本「高額奪う手法」

明・神子孫の指針で210代前まで必要だったとしていますが(現在は430代前まで)、1世代を20年と計算しても縄文時代の先祖までさかのぼるとかなりの数になります。

儀式のためには「解怨献金が必要である」とも。献金額は1〜7代前までをひたすらとって70万円。それ以後は、7代ごと30万円となっています。

統一協会は信者の父母それぞれに先祖だけでなく、父親の母方、母親の母方で計4家系の先祖解怨を求めています。このため210代前まで供養するために合計6000万円の献金を必要とされます」と証言しています。

清平で儀式に参加した元信者は「7代、14代と解怨している間に、『何代目の先祖のために210代になる』と信者から聞かれます。『210代前まで供養するために6000万円を奪う』と信者は洗脳されています」と証言しています。

信者の両親が持った信者の30代女性には「先祖解怨の効果」なんてないですよ。みんなが何百代前の先祖を解怨するのとどこかで先祖が離れていきます。そんな苦痛すら分かんないくらいに信者は洗脳されています」と証言しています。

信者の両親が持った信者の30代女性には「先祖解怨の効果」なんてないですよ。みんなが何百代前の先祖を解怨するのとどこかで先祖が離れていきます。そんな苦痛すら分かんないくらいに信者は洗脳されています」と証言しています。

信者の両親が持った信者の30代女性には「先祖解怨の効果」なんてないですよ。みんなが何百代前の先祖を解怨するのとどこかで先祖が離れていきます。そんな苦痛すら分かんないくらいに信者は洗脳されています」と証言しています。

信者の両親が持った信者の30代女性には「先祖解怨の効果」なんてないですよ。みんなが何百代前の先祖を解怨するのとどこかで先祖が離れていきます。そんな苦痛すら分かんないくらいに信者は洗脳されています」と証言しています。